

氏名 _____

問 題 (20点)

次の取引の仕訳を行いなさい。

- 1 大山商店は商品¥500,000を売上げ、代金は相手先振出の約束手形で受取った。
- 2 春鹿商店に対する買掛金の支払いとして約束手形¥250,000を振出した。
- 3 得意先白瀧商店に対する掛代金¥1,000,000の回収として、同店振出しの約束手形を受取った。
- 4 仕入先呉春商店より商品¥350,000を仕入れ、約束手形¥200,000を振出し、残高は掛とした。
- 5 かねてより銀行に取り立てを依頼していた得意先白瀧商店振出の約束手形¥500,000が満期日となり、当座預金に入金した旨の通知を受けた。

	仕 訳			
	借 方	金 額	貸 方	金 額
1				
2				
3				
4				
5				

問 題 (20点)

次の取引の仕訳を行いなさい。

- 1 大山商店は商品¥500,000を売上げ、代金は相手先振出の約束手形で受取った。
- 2 春鹿商店に対する買掛金の支払いとして約束手形¥250,000を振出した。
- 3 得意先白瀧商店に対する掛代金¥1,000,000の回収として、同店振出しの約束手形を受取った。
- 4 仕入先呉春商店より商品¥350,000を仕入れ、約束手形¥200,000を振出し、残高は掛とした。
- 5 かねてより銀行に取り立てを依頼していた得意先白瀧商店振出の約束手形¥500,000が満期日となり、当座預金に入金した旨の通知を受けた。

	仕 訳			
	借 方	金 額	貸 方	金 額
1	受 取 手 形	500,000	売 上	500,000
2	買 掛 金	250,000	支 払 手 形	250,000
3	受 取 手 形	1,000,000	売 掛 金	1,000,000
4	仕 入	350,000	支 払 手 形	200,000
			買 掛 金	150,000
5	当 座 預 金	500,000	受 取 手 形	500,000

氏名 _____

得点	
----	--

問 題 (各 4 点 × 5 = 20 点)

次の取引の仕訳を行いなさい。

1. 甲府商店は、山梨商店に対する買掛金 ¥200,000 の支払いを電子債権記録機関で行うため、取引銀行を通じて債務の発生記録を行った。
2. 山梨商店は、取引銀行から、甲府商店に対する売掛金 ¥200,000 について、電子記録債権が発生した旨の連絡を受けた。
3. 山梨商店は、電子債権記録機関に発生記録した債権 ¥200,000 の支払期日が到来し、普通預金口座に振り込まれた。
4. 甲府商店は、電子債権記録機関に発生記録した債務 ¥200,000 の支払期日が到来したので、当座預金口座から引き落とされた。
5. 新潟商店は、長岡商店に対する売掛金 ¥150,000 の受取りを電子債権記録機関で行うため、取引銀行を通じて債権の発生記録を行った。

	仕 訳			
	借 方	金 額	貸 方	金 額
1				
2				
3				
4				
5				

問 題 (各4点×5=20点)

次の取引の仕訳を行いなさい。

1. 甲府商店は、山梨商店に対する買掛金¥200,000の支払いを電子債権記録機関で行うため、取引銀行を通じて債務の発生記録を行った。
2. 山梨商店は、取引銀行から、甲府商店に対する売掛金¥200,000について、電子記録債権が発生した旨の連絡を受けた。
3. 山梨商店は、電子債権記録機関に発生記録した債権¥200,000の支払期日が到来し、普通預金口座に振り込まれた。
4. 甲府商店は、電子債権記録機関に発生記録した債務¥200,000の支払期日が到来したので、当座預金口座から引き落とされた。
5. 新潟商店は、長岡商店に対する売掛金¥150,000の受取りを電子債権記録機関で行うため、取引銀行を通じて債権の発生記録を行った。

	仕 訳			
	借 方	金 額	貸 方	金 額
1	買 掛 金	200,000	電子記録 債 務	200,000
2	電子記録 債 権	200,000	売 掛 金	200,000
3	普 通 預 金	200,000	電子記録 債 権	200,000
4	電子記録 債 務	200,000	当 座 預 金	200,000
5	電子記録 債 権	150,000	売 掛 金	150,000

問題 次の各取引について仕訳しなさい。なお勘定科目は下記より選ぶこと。(20点)

現 金	普 通 預 金	当座預金関東銀行	当座預金近畿銀行
受 取 手 形	電子記録 債 権	売 掛 金	受 取 商 品 券
支 払 手 形	電子記録 債 務	買 掛 金	所得稅 預り 金
売 上	受 取 利 息	仕 入	給 料
水道光熱費	通 信 費	支 払 利 息	貸 倒 損 失
仮 払 消 費 税	仮 受 消 費 税		

- 商品¥500,000を掛けて仕入れ、当社負担の引取運賃¥20,000を現金で支払った。
- 商品¥800,000を掛けて売り上げた。
- 売掛金¥500,000が近畿銀行の当座預金口座に振り込まれた。
- 買掛金¥130,000を近畿銀行の当座預金口座から支払った。
- 商品¥390,000を掛けて売り上げた。
- 商品¥450,000を掛けて仕入れた。
- 所得稅の源泉徴収額¥7,000を近畿銀行の当座預金口座から納付した。
- 電子記録債権¥200,000が決済され、関東銀行の当座預金口座に振り込まれた。
- 電子記録債務¥120,000が決済され、関東銀行の当座預金口座から支払われた。
- 売掛金¥900,000について、電子記録債権の発生期録が行われたとの連絡を受けた。
- 前期からの電子記録債権¥10,000が貸倒となった。
- 買掛金¥700,000について、電子記録債務の発生記録を行った。
- 受取手形¥75,000が決済され、近畿銀行の当座預金口座に振り込まれた。
- 関東銀行の当座預金口座から近畿銀行の当座預金口座に¥50,000送金した。
- 支払手形¥170,000が決済され、近畿銀行の当座預金口座から引き落とされた。
- 従業員の給料¥140,000から所得稅の源泉徴収額¥6,000を差し引いた残高を関東銀行の当座預金口座から振り込んだ。
- 水道光熱費¥12,000および通信費¥9,000が関東銀行の当座預金口座から引き落とされた。
- 秋田株式会社に対する買掛金¥270,000の決済として、同社あての約束手形を振出した。
- 商品¥16,000を売り上げ、消費稅¥1,600を含めた合計額のうち¥7,600は現金で受け取り、残額は共通商品券を受け取った。なお、消費稅は税抜方式で記帳する。
- 普通預金口座に利息¥300が入金された。

(ヒント)

- 7, 16. 所得稅の源泉徴収額は、(所得稅預り金)で処理する。
11. 引当金の設定がなければ、電子記録債権の貸倒も(貸倒損失)で処理する。

氏名 _____

(答案用紙)

得点	
----	--

	借 方		貸 方	
	勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

	借 方		貸 方	
	勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
1	仕 入	520,000	買 掛 金 現 金	500,000 20,000
2	売 掛 金	800,000	売 上	800,000
3	当座預金近畿銀行	500,000	売 掛 金	500,000
4	買 掛 金	130,000	当座預金近畿銀行	130,000
5	売 掛 金	390,000	売 上	390,000
6	仕 入	450,000	買 掛 金	450,000
7	所得 税 預り金	7,000	当座預金近畿銀行	7,000
8	当座預金関東銀行	200,000	電子記録 債 権	200,000
9	電子記録 債 務	120,000	当座預金関東銀行	120,000
10	電子記録 債 権	900,000	売 掛 金	900,000
11	貸 倒 損 失	10,000	電子記録 債 権	10,000
12	買 掛 金	700,000	電子記録 債 務	700,000
13	当座預金近畿銀行	75,000	受 取 手 形	75,000
14	当座預金近畿銀行	50,000	当座預金関東銀行	50,000
15	支 払 手 形	170,000	当座預金近畿銀行	170,000
16	給 料	140,000	所得 税 預り金 当座預金関東銀行	6,000 134,000
17	水道光熱費 通 信 費	12,000 9,000	当座預金関東銀行	21,000
18	買 掛 金	270,000	支 払 手 形	270,000
19	現 金 受 取 商 品 券	7,600 10,000	売 上 仮 受 消 費 税	16,000 1,600
20	普 通 預 金	300	受 取 利 息	300